

第7回聖学院大学留学生日本語弁論大会

目次：

留学生日本語 弁論大会	P 1
カナダ研修中止 残念勉強会	P 1
留学生が日本の高 校で1日授業	P 2
ヴェリタス祭でア ジアン屋台を出店	P 3
留学生インタ ビュー	P 3
留学生在籍状況 秋卒業留学生	P 3
秋卒業留学生 お知らせ 行事予定	P 4

11月25日(水)、国際部主催・日本語教育委員会後援で第7回聖学院大学留学生日本語弁論大会が開催されました。最終選考に残った6名が「私の異文化体験」をテーマに弁論の晴舞台に挑みました。最優秀賞である学長賞を受賞したのは、人間福祉学科2年のウォン・ロチャンさん(香港)。「相手が分かるように伝えるには」と題して、日本手話を学ぶ過程で「伝える」ためには相手が分かるように「伝える」工夫をすることが重要と述べ、自らの日本語修得、聴覚障害者とのコミュニケーションに生かす意気込みを述べました。国際部長賞を受賞したのは、コミュニティ政策学科4年のラン・ショエさん(中国)。日本で初めて日本人の家族と共に正月を過ごした体験を取り上げ、日本と中国の正月の違いをユーモアを交え表現しました。日本語教育委員長賞を獲得したのは、政治経済学科1年生のリ

ン・レイレイさん(中国)。中国と日本の異文化が生んだ「ペットフード」にまつわる笑い話から始まり、自分が当然と思っている文化が外に出ると不思議であり、相手文化を知ることによって楽しみが増えていくとの積極的な弁論に聴衆の共感を得ました。留学生の生きた体験を受け、多文化に生きる面白さ、多くの教訓を得ることができた弁論大会でした。

学長賞
ウォン ロチャンさん

最終弁論者6名

カナダ研修中止残念！勉強会を実施。

カナダ・ブリティッシュコロンビア州ビクトリア市にあるビクトリア大学で実施予定であった2009年度夏期海外研修が残念ながら新型インフルエンザの影響で中止となりました。

7月29日、参加予定者を対象に「チャレンジ英語-Victoria残念、それでも学ぶぞ-」勉強会を開催しました。

本学国際部委員会の村上公久政治経済学科教授による勉強会は、「英語を学ぶ意義」、「国際化からグローバルへ」、「日本人はなぜ英語ができないのか」、をキーワードに、私たちが地球市民としてことばの混乱を乗り越える重要性、英語の学び方のコツを教授いただきました。



勉強会後には、ピザパーティーを開催、カナダに関するゲームなどをしたりと楽しい歓談の時となりました。渡航準備、講義やパーティーを経て打ち解けた学生たちは、共に留学することはできませんでしたが、夏休みの抱負を分かち合いました。



勉強会後のピザパーティーの様子

重要なお知らせ：

2010年4月1日

より、国際協力課
は、国際交流課へ
課名が変更となり
ました。

留学生が日本の高校で1日講師

10月から11月にかけて、埼玉県立上尾高等学校の「国際関係」の授業において、4名の留学生が母国の紹介授業をしました。授業では、パワーポイントで母国の紹介、日本に留学することになった理由や日本で日常・学校生活の感想、母国と日本を比べた感想を説明しました。高校生にとっては、留学生の母国を身近に感じると同時に、改めて日本について学ぶ授業となったようです。一方、留学生にとっては、日本の高校に初めて足を踏み入れる貴重な経験となりました。

本学から派遣した「国際関係」授業の留学生講師

韓国	アン・ソンギユ（日本文化学科2年）
バングラディッシュ	ミル・ビッラル・ホセイン（欧米文化学科4年）
ネパール	カレル・ティカラム（政治経済学科3年）
ネパール	カナル・デビ・チャンドラ（コミュニティ政策学科2年）



中央左：カナル・デビ・チャンドラさん
中央右：カレル・ティカラムさん

上尾高校での授業を終えて —授業から本当の国際交流へ—

日本文化学科2年 AN SUNGKYU
韓国（アン・ソンギユ）

日本に来て三年が経ち、国際交流課の紹介で上尾高校での授業をする機会を得た。準備をする間にどうすれば皆と楽しく授業ができるのか考えながら、今の高校生にとって韓国という国がどう思われているのか、などを考えながら高校での授業の準備を進めていた。初めて日本の高校に行くので韓国の高校とはどんな違いがあるか、雰囲気はどうかなど気になっていた。

上尾高校に初めて行った時、なんだか分からないけれど妙な気がし、これが日本の高校だ、という感じだった。そして、生徒さんと会った時には皆ぼつとした顔をした。韓国と日本は同じアジアであり、最も

近い国であるので見た目で判断するのは難しいことである。

早速授業が始まり、いきなり韓国語で自己紹介をしてください、という先生の発言で韓国人であるのにも関わらず韓国語が出なくなってしまった。緊張感と突然の先生の発言で頭が真っ白になったのかもしれない。韓国語で自己紹介し、授業をしているうちに緊張感もなくなり、皆に韓国の文化を紹介することができた。

また、生徒さんの中には韓国にはまっている人も何人かいたので、色々教えながら皆と楽しく話すことができた。女子が多かったので芸能人の話が出ると皆騒いだり、テンションが高くなったりした。授業を重ねるたびに緊張感はなくなり、高校での授業を楽しみに待っている自分がいた。皆とすっかり仲良くなり、授業というより本当の国際交流ができたと思う。

上尾高校の授業は2回で終わるはずだったのに4回までやらせてもらい、3回目は皆と韓国の料理の一つであるチヂミを作って食べたので、さまざまな方面で韓国について教えることができた。

最後の4回目の授業が終わった後に皆が書いた色紙をもらったり、教頭先生まで来て感謝状までもらったり、サプライズの連続だった。



チヂミを作った3回目の授業



上尾高校の生徒とアン・ソンギユさん

授業を重ねるたびに緊張感はなくなり、高校での授業を楽しみに待っている自分がいた。

学生国際交流委員会 ヴェリタス祭で「アジア屋台」を出店

11月3日、4日に開催されたヴェリタス祭で学生国際交流委員会が「アジア屋台」を出店しました。韓国のチヂミ、香港の緑豆を砂糖で煮た緑豆沙（りょくとうさ）を手作り、販売しました。韓国、香港の留学生の本場のレシピをもとに作り、美味しいと好評でした。インドネシア出身の留学生も加わり、2日間でチヂミ550枚と緑豆沙120杯を完売しました。



緑豆沙【香港】



チヂミ【韓国】

学生国際交流委員を募集しています！

本学に在籍している留学生との交流イベントの他、学外の学校や機関との交流も企画しています。留学生も日本人学生も集まれ！



学生国際交流委員

留学生インタビュー 韓国・湖西大学校からの交換留学生イ・ヘジンさん

韓国の提携校である湖西（ホソ）大学校から2009年度秋学期から2010年度春学期まで交換留学生として勉強しているイ・ヘジンさんに日本の留学生活について聴きました。



Q：日本に留学することになったきっかけは？

A：韓国の高校で、第2外国語として日本語を勉強した後、湖西大学校で日本人の先生の日本語の授業を受講しました。聖学院大学を選んだ理由は、私は韓国で老人福祉学科で勉強していて、聖学院には福祉学科があったから選びました。日本は韓国より老人福祉が進んでいるときいていました。

Q：1学期目が終わりましたが、授業はどうでしたか？

A：授業は、最初は30%くらいしか聴き取ることができなかったけれど、今は大体分かるようになりました。福祉の専門科目は、とても難しかったです。日本語で文章を書くのが難しく、辞書を使って、何度も何度も見直しをしました。

Q：大学生活で思い出に残っていることは何ですか？

A：聖学院の学生国際交流委員のみんなと、学園祭でアジア屋台をだしてチヂミを作ったのが一番の思い出です。日本人の友達を作ることができて、学園祭後に皆と仲良くなり、うれしかったです。

Q：ホームステイはどうですか？

A：粕谷小夜子さんのお宅でホームステイをしています。最高です。粕谷さんのお友達やボランティアの方をたくさん紹介してもらい、栃木に連れて行ってもらったり、

誕生日には温泉旅行に連れて行ってもらったり、本当によい経験をしました。ステイ先には、スウェーデン、フランス、ブラジル出身の学生もいて、共通語の日本語で話しています。こんなに色々な国の人と共同生活するのは初めてでした。



Q：日本と韓国の文化の違いでショックはありましたか？

A：日本に来たのは今回が4回目だったので、色々慣れていました。友達をみていると、日本人はとても忙しいなと思います。友達と遊ぶと思ってなかなか都合が合わずに誘ったり、誘われたりがしにくいと思います。

Q：残りの留学生活、韓国に帰っての目標は何ですか？

A：次学期は、日本語の授業を減らし、専門の老人ホームなどの施設の見学に行くつもりです。韓国での就職活動も始まるので、実際の現場をみたいと思っています。日本の授業で学んだ日本の福祉を直接、韓国に持っていくことは年金制度、文化、法律が違うので難しいと思うけれど、それを新しい形に変えていくことができると思います。新しい事を作りだす、そんな仕事をするのが夢です。



ホームステイ先でのひな祭りパーティー

2009年度外国人留学生国別在籍状況

国籍名	合計
中国	150
韓国	22
ベトナム	12
ネパール	6
台湾	6
スリランカ	4
インド	3
バングラデシュ	3

国籍名	合計
タイ	2
ミャンマー	2
マレーシア	2
イタリア	1
インドネシア	1
英国(香港)	1
ガボン	1
	216



(2010年3月31日現在)

秋卒業生おめでとうございます。

2009年9月16日、秋晴れの中、4名の秋入学留学生が卒業しました。

JEON SOYOUNG (ジョン・ソヨン) 韓国

OTOGONBAYAR SOLONGO (オトゴンバイヤル・ソロンゴ) モンゴル

CHEN XINGANG (チン・シンゴウ) 中国

AHN HYNJUNG (アン・ヒョンジョン) 韓国



お知らせ・イベント

4月 入学式

新入生 留学生ガイダンス

SEA夏期海外研修留学説明会

留学生お花見

5月 提携校交換留学説明会

SEA夏期海外研修締切・面接

SEA夏期海外研修 事前準備講座

6月 英語スピーチコンテスト

7月 SEA夏期海外研修準備講座・結団式

8月 SEA夏期海外研修

9月 秋入学生 留学生ガイダンス



SEIGAKUIN UNIVERSITY

聖学院大学 学生支援部

国際交流課

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1 8号館1階

TEL 048(725)2801 FAX 048(781)0094

Email: kokusai@seigakuin-univ.ac.jp

窓口受付時間

月 9:00～16:00

火～土 9:00～11:30, 12:30～16:00

次号予告

- ・2009年度春期海外研修 参加者報告
- ・第4回英語スピーチコンテスト
- ・交換留学生紹介
- ・留学生お花見 など